

# 第三者認証GAPの取得支援

大津・南部農業普及指導センター

## 【普及活動のねらい・対象】

近年、海外輸出の増加や実需者ニーズの高まり、オリンピック・パラリンピック東京大会での食材調達の要件などを背景に、第三者認証GAP取得を求める動きが注目されています。当センター管内では、基礎的GAPが定着しているものの、GAP取組の高度化による経営改善への意欲は低く、第三者認証GAP取得組織はありませんでした。そこで、当センターでは高度なGAP導入による経営発展モデルの育成を図るため、第三者認証GAP取得意向者を対象に、認証取得に向けた実践が円滑に進むよう3年間支援しました。

## 【普及活動の内容】

### (1) 認証取得に向けた準備支援

高度なGAP導入に関心のある農業者を対象に、意欲向上と手順の理解促進を図るための研修会を開催し、広報紙でGAP取組の高度化を働きかけました。認証取得意向のある5組織（表）の意向を把握し、行程表の提示、取組スケジュールの共有化、時期別の実践内容の明確化を図りました。

### (2) 認証取得に向けた実践支援

民間コンサルタントや関係機関との役割分担を明確にしたGAP支援体制を整備し、定期的な巡回により進捗状況を把握しながら、不適合項目の明確化による改善策の提案および助言を行いました。

本審査前に模擬審査や内部監査を実施することで総点検を促し、審査受審への体制を整えました。本審査にも立ち会うことで速やかに是正項目を把握し、その改善に対する情報提供および助言を行いました。

表 第三者認証GAP取得意向者

意向者名	取得意向GAPと品目	認証取得の目的
農業法人	GLOBALG.A.P.個別認証⇒H30.6認証取得 (コマツナ、ホウレンソウ、ハクサイナ、ミズナ)	・取引先からの要望
集落営農法人	ASIAGAP個別認証⇒H30.7認証取得 (メロン、キャベツ、イチゴ、ミニトマト)	・輸出の意向
大規模土地利用型経営体	JGAP個別認証⇒R1.6認証取得(米)	・取引先からの要望
JA生産者組織	JGAP団体認証⇒R1.11認証取得(米)	・選ばれる産地づくり
野菜生産経営体	GLOBALG.A.P.個別認証⇒R2.3受審予定 (コマツナ、ホウレンソウ、ミズナ、レタス)	・東京オリパラへの食材提供意向



写真 本審査（審査員による現地ほ場確

## 【普及活動の成果】

これらの活動の結果、管内の第三者認証GAP取得組織数は0組織から4組織に増加しました。残る1組織も令和2年3月末の受審に向け、適合率は約98%にまで高まっています。今後もGAPの高度化を推進し、認証の定着・拡大を図っていきます。

### ◎対象者の意見

GAPの高度化・認証取得により法令遵守の徹底や生産意欲の向上、新たな販路拡大など経営改善が図れ、経営の発展・安定化につながりました（取組生産者）。